

◆事業内容及び事業に関する企画力

- ・事業実施の目的と基本仕様書の内容を十分に理解し、市内中小企業とスタートアップ企業の円滑な連携を促進するための適切なプログラムが設計されているか。
- ・市内中小企業の現状や課題の把握方法が具体的、適切であるか。
- ・市内中小企業が、自社の課題解決や事業成長の手段として、主体的にスタートアップ企業との連携に取り組むことができるよう、スタートアップ企業に対する理解を促進するための適切な内容のインプットプログラムが提案されているか。
- ・市内中小企業とスタートアップ企業との円滑な連携を促進するためのコーディネート及びサポートの方法や計画が明確かつ具体的であるか。
- ・プログラム成果の共有方法が効果的であるか。
- ・業務内容、実施方法が明確で具体的かつ、効果的であるか。

本項目の評価視点として、本市が本事業を実施する目的と基本仕様書の内容を十分に理解し、市内中小企業とスタートアップ企業との円滑な連携が促進するための、現状把握、理解促進、マッチングの機会提供とサポート、成果の共有化の各項目について効果的かつ適切な企画がなされているかを評価する。

◆実施体制・スケジュール

- ・円滑な業務遂行、業務管理の人員確保など体制が確立されているか。
- ・参加者の募集方法は適切な方法で計画されているか。
- ・市と受託者との役割分担は明確になされているか。
- ・円滑な業務実施のため、具体的なスケジュールが示されているか。

本項目の評価視点として、適正かつ円滑な業務遂行のため、事業管理の体制が確立され、人員確保、事業実施における環境整備も含めた円滑な業務遂行が期待できるかを評価する。

◆類似業務実績

- ・同種、類似の業務実績が豊富であるか。
- ・官公庁（国、地方公共団体、公社、公団及び独立行政法人に限る。）発注の類似の業務実績があるか。
- ・本業務に活かすことの期待できる幅広い専門性やネットワークを有しているか。

本項目の評価視点として、本事業は、市内中小企業の現状や課題把握、スタートアップ企業に対する知識や理解、企業間のマッチングなど、多様な業務を実施する必要がある。そのため、提案事業者が本業務に活かすことのできる同種、類似業務の豊富な経験や実績と幅広い専門性やネットワークを有しているかについて評価する。

◆コスト

- ・見積額は予算を超えていないか。
- ・委託業務内容に見合った見積額かどうか。

本項目の評価視点として、予算額は10,000千円となっており、見積額が予算額を超えていないかどうかを確認するとともに、全体として業務内容と見積額のバランスを判断し、評価のポイントとする。

◆取組意欲

- ・提案書の内容に、提案に対する意欲が感じられるか。
- ・プレゼンテーションの内容、姿勢、態度に提案に対する意欲が感じられるか。
- ・質問に対する回答、受け答えから提案に対する意欲が感じられるか。

本項目の評価視点として、本市の特性や業務の目的を十分に理解し、提案書やプレゼンテーション、質疑応答において、事業に対する積極性のある提案がなされているかを評価する。